

エコアクション21 環境経営レポート



熊本県公共関与産業廃棄物管理型最終処分場「エコアくもと」

第4版 令和5年6月発行

（取組期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日）

公益財団法人熊本県環境整備事業団

目次

1 法人の概要	1
1. 1 組織の概要	1
1. 2 対象事業の概要	2
1. 3 対象事業所の施設の概要	2
2 エコアクション2.1組織図	11
3 環境経営方針	12
4 環境経営目標	13
5 取組期間の環境経営目標の実績及び評価	14
6 環境経営計画	16
7 取組期間の環境経営計画に対する取組結果	17
8 環境関連法規への違反・訴訟などの有無	18
9 代表者による全体評価と見直し	19
10 環境教育の拠点としての活動、自主イベントを通じた地域とのつながり	20
11 令和5年度以降の環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画について	26

1 法人の概要

1. 1 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

公益財団法人熊本県環境整備事業団 理事長 田嶋 徹

(2) 設立日

平成19年(2007年)12月13日

(3) 基本財産

600万円

(4) 所在地及び連絡先

熊本県玉名郡南関町大字下坂下字棒目木4771番地3

TEL 0968-53-8500 FAX 0968-53-8510

e-mail info@kksj.jp

ホームページ <http://www.kksj.jp>

(5) 設立目的

産業廃棄物の適正な処理その他廃棄物に関する各種事業を行うことにより、本県の優れた自然環境の保全及び県民の生活環境の保全並びに産業の健全な発展に寄与することを目的とする。

(6) 事業内容

①産業廃棄物の処理に関する事業

②一般廃棄物(災害その他やむを得ない事情によるものに限る。)の処理に関する事業

③廃棄物の排出抑制、再使用及び再生利用並びに適正処理に関する啓発・調査研究事業

④その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(7) 環境管理責任者・担当者及び連絡先

環境管理責任者 事務局次長 川口 久夫(令和5年4月1日～)

担当者 事務局管理課長(技術) 木野 世紀

連絡先 TEL 0968-53-8500

(8) 環境経営レポート対象期間及び発行日

対象期間 令和4年(2022年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日

発行日 令和5年(2023年)6月30日

(9) 事業規模

内容	単位	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
年商	千円	677,566	874,175	228,155
廃棄物受入量	t	19,933.74	48,168.59	9,479.92

1. 2 対象事業の概要

(1) 事業内容

産業廃棄物処分業（管理型最終処分場）

廃棄物の排出抑制、再生利用等に関する啓発事業

(2) 産業廃棄物処分業許可内容

【産業廃棄物処分業】

熊本県 許可番号 第04331186917号

許可の年月日 令和3年（2021年） 2月16日

許可の有効期限 令和9年（2027年）12月24日

・事業の区分 最終処分業

・処理方式 管理型埋立

・取り扱う産業廃棄物の種類

燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物又は植物に係る固形状不要物（動植物性残さ）、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、コンクリート破片その他これに類する不要物（がれき類）、ばいじん、政令第2条第13号に規定する廃棄物（13号廃棄物）（これらのうち石綿含有産業廃棄物及び自動車等破砕物であるものを含む）

【特別管理産業廃棄物処分業】

熊本県 許可番号 第04381186917号

許可の年月日 令和3年（2021年） 2月16日

許可の有効期限 令和9年（2027年）12月24日

・事業の区分 最終処分業

・処理方式 管理型埋立

・取り扱う産業廃棄物の種類 廃石綿等

1. 3 対象事業所の施設の概要

(1) 施設の種類

管理型最終処分場

(2) 施設の名称

熊本県公共関与産業廃棄物管理型最終処分場

（愛称：エコアくまもと）

(3) 所在地

熊本県玉名郡南関町大字下坂下字棒目木4771番地3

(4) 設置年月日

平成27年（2015年）11月25日

(5) 処理能力

埋立地面積 31,121 平方メートル

埋立容量 423,395 立方メートル

浸出水処理施設 60 立方メートル／日

残余容量 208,177 立方メートル

(令和5年(2023年)3月31日現在)

(6) 保有車両等

社用車(ハイブリッド車) 1台

バックハウ 1台 (維持管理業務委託事業者管理・リース車)

ブルドーザー 1台 (維持管理業務委託事業者管理・リース車)

4トンダンプ車 1台 (維持管理業務委託事業者管理・リース車)

(7) その他保有設備

太陽光発電30キロワット 1式(水処理棟屋上)

太陽光発電2002キロワット 1式※(覆蓋施設屋上)

※熊本いいくに県民発電所株式会社所有。同社が管理、運営。



覆蓋施設
(埋立地)

水処理棟

(8) 施設の配置

施設の配置は下図のとおり。



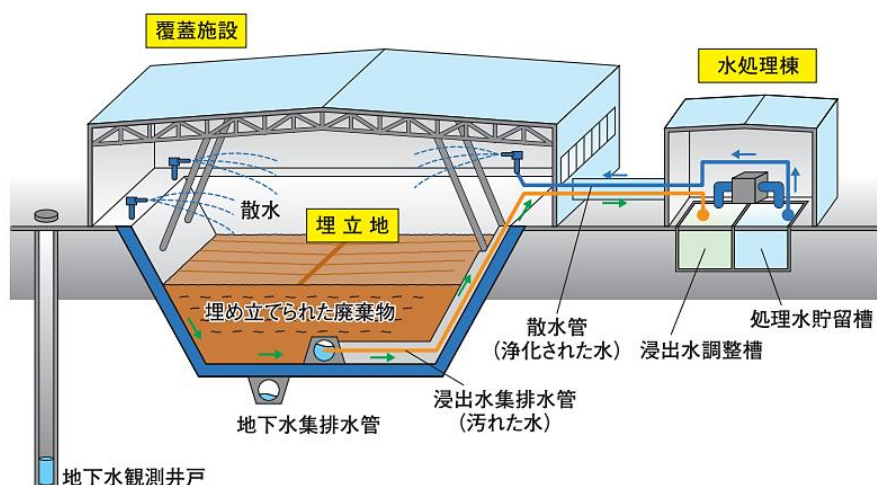
埋立地の地下水脈上流側に3本、下流側に3本の計6本のモニタリング井戸を設置し、地下水のpHと電気伝導度を常時監視しています。
※図の左側から右側へ地下水は流れています。

(9) 施設構造

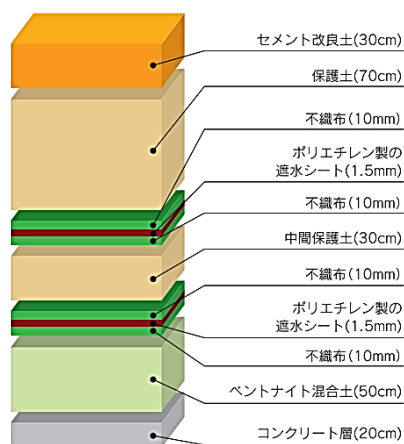
当施設は、覆蓋（屋根や壁で覆っている）施設（クローズド型）のため、埋立地内で発生するホコリや臭い、騒音を封じることができることで、周囲の環境に影響を与えません。さらに、埋立地への雨水の流入を防ぐことができるため、余分な水処理を行う必要がありません。

また、埋立地内で発生した水（浸出水）は河川などへ放流しない（無放流型）ため、周囲の河川水質などへ影響を与えません。水（浸出水）は水処理棟において適切な処理を行い、処理水は埋立地への散水に再利用します。

【クローズド・無放流型イメージ】



(10) 遮水構造



(底面部)

底面部は、法令の基準（二重遮水構造）を上回る遮水構造により、浸出水が埋立地から外部に漏水することを防止しています。

また、遮水工の中に漏水検知システムを二重に備えており、仮に漏水があったとしても、1mの範囲内で速やかに漏水箇所を検知できます。

法面部は二重の遮水構造のほか、水と接触すると自ら吸水膨張することにより遮水する自己修復材を備えています。

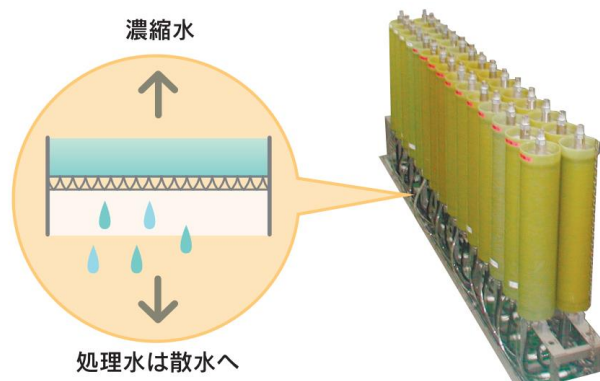
(11) 水処理施設



当施設の水処理施設は、逆浸透膜（RO膜：1～2ナノメートルの小さな孔があいている膜）を用いた施設です。

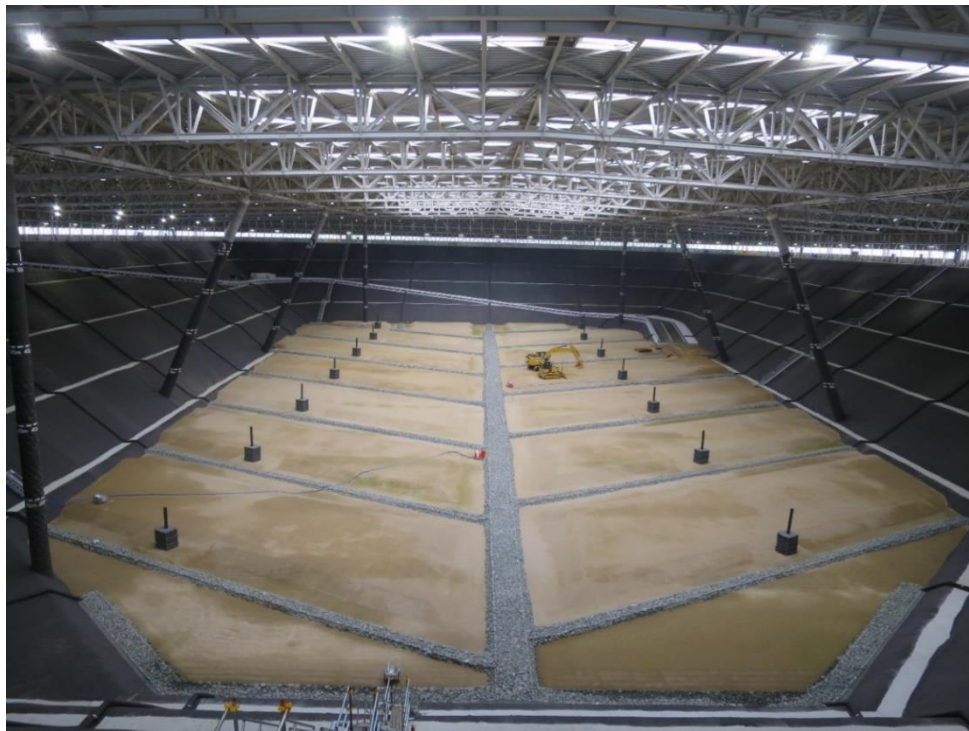
浸出水に高い圧力をかけて、直接ろ過することできれいな水になります。ろ過されたきれいな水は、埋立地の散水に再利用します。

また、ろ過により残った汚れた水は、濃縮した後産業廃棄物として処理を外部に委託しています。



(12) 覆蓋施設の状況

<埋立前（平成28年(2016年)3月）>

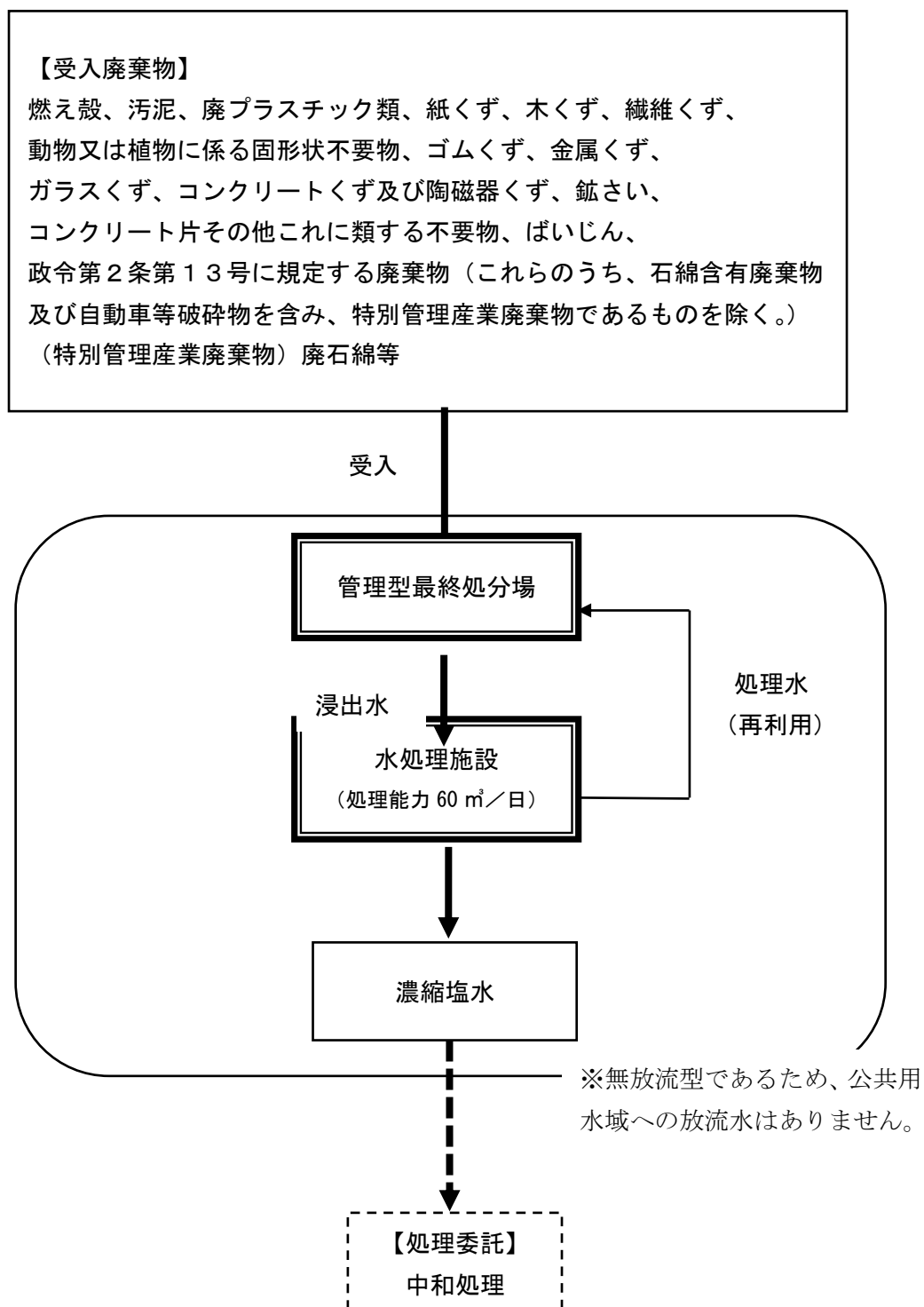


<令和5年(2023年)3月31日現在>



(13) 処理工程

最終処分場「エコアくまもと」の処理工程は下図に示すとおりです。



(14) 処分実績 (累計)

埋立開始からの埋立処分量及び廃棄物の構成比を下表に示します。

【単位：t】

種別	品目	H27(2015) 年度	H28(2016) 年度	H29(2017) 年度	H30(2018) 年度	R1(2019) 年度	R2(2020) 年度	R3(2021) 年度	R4(2022) 年度	総計	
		3月	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計		比率(%)
産業 廃棄物	燃え殻		10.95	906.75	82.57	61.12	270.60	1,969.21	1,294.28	4,595.48	1.70
	汚泥(無機性)		105.75	15.70	208.32	481.93	1,656.82	629.66	553.24	3,651.42	1.35
	汚泥(有機性)		155.77	29.32	3.39	46.04	426.62	72.16	14.64	747.94	0.28
	廃プラスチック類		34.45	424.93	691.33	717.61	381.45	427.81	359.56	3,037.14	1.12
	シュレッダーダスト		49.98	657.52	163.08	470.91	820.85	511.06	438.72	3,112.12	1.15
	紙くず					78.96	20.37			99.33	0.04
	木くず		0.58	2.17	0.00	132.32	17.73	59.62	9.11	221.53	0.08
	動植物性残さ			110.64	185.21	179.68	17.28	14.43	1.39	508.63	0.19
	ゴムくず		0.08							0.08	0.00
	金属くず			1.61		0.05				1.66	0.00
	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	16.22	1,212.27	1,629.80	977.63	955.44	1,118.16	1,175.08	1,238.69	8,323.29	3.07
	廃石膏ボード	18.22	35.30	90.23	202.42	169.40	231.67	295.85	143.82	1,186.91	0.44
	石棉含有廃棄物(非飛散性アスベスト)		9.45	198.79	201.25	160.58	153.08	751.60	1,014.67	2,489.42	0.92
	鉱さい			2.54	65.76	93.01	5.91	89.13	110.25	366.60	0.14
	がれき類		333.94	4,485.07	169.48	1,458.91	2,994.60	1,427.95	2,243.15	13,113.10	4.84
	ばいじん					0.92	1.05	2.97	3.42	8.36	0.00
	廃石棉等				10.84		0.01	0.78	25.61	37.24	0.01
	政令13号廃棄物		45.40	15.35	20.20					80.95	0.03
	合計	34.44	1,993.92	8,570.42	2,981.48	5,006.88	8,116.20	7,427.31	7,450.55	41,581.20	15.35
災害 廃棄物	ガラス陶磁器・がれき類		28,375.70	2,703.47	0.81		1,986.39	892.86	12.97	33,972.20	12.54
	混合廃棄物		28,058.59	74,435.01	1.28		4,615.66	33,331.77	1,989.55	142,431.86	52.56
	スレート、サイディング、石膏ボード		23,055.78	17,445.01	25.58		4,479.52	6,180.64	26.85	51,213.38	18.90
	泥壁		36.23							36.23	0.01
	断熱材、発泡スチロール		332.33	218.64	0.10		210.15	137.59		898.81	0.33
	木毛板		1.57	11.97			17.38	108.72		139.64	0.05
	燃え殻		7.71	32.04						39.75	0.01
	廃プラ、農業ビニール		22.03	40.98			0.96	1.29		65.26	0.02
	石棉含有廃棄物(非飛散性アスベスト)			0.10						0.10	0.00
	金属を含む大型ごみ						507.48	72.54		580.02	0.21
	廃石棉等							15.87		15.87	0.01
	合計		79,889.94	94,887.22	27.77	0.00	11,817.54	40,741.28	2,029.37	229,393.12	84.65
廃棄物合計		34.44	81,883.86	103,457.64	3,009.25	5,006.88	19,933.74	48,168.59	9,479.92	270,974.32	100.00

(15) 処分実績 (令和4年度)

令和4年度の埋立実績(再掲)及び廃棄物の構成比を下表に示します。

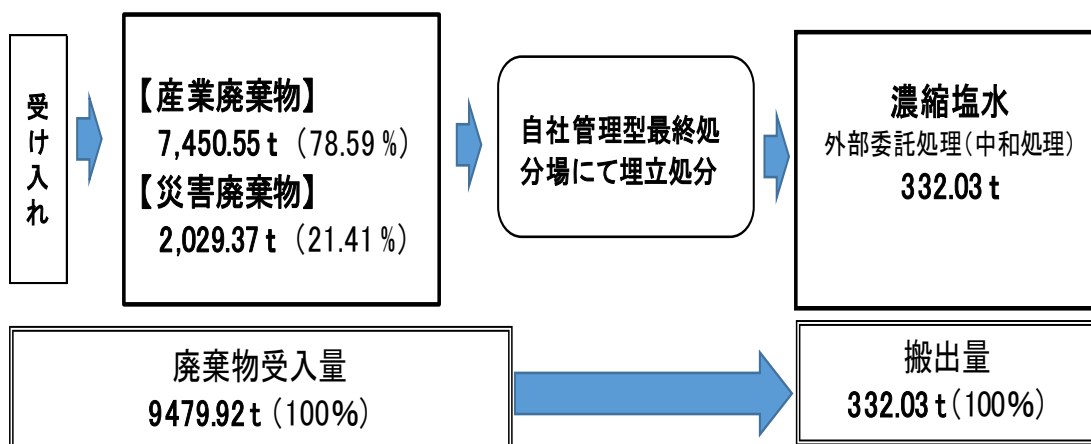
【単位：t】

種別	品目	R4(2022)年度 単位:t	産業廃棄物 (災害廃棄物) 毎の構成比 (%)	廃棄物全体の 構成比 (%)
産業廃棄物	燃え殻	1,294.28	17.37	13.65
	汚泥(無機性)	553.24	7.43	5.84
	汚泥(有機性)	14.64	0.20	0.15
	廃プラスチック類	359.56	4.83	3.79
	シュレッターダスト	438.72	5.89	4.63
	紙くず			
	木くず	9.11	0.12	0.10
	動植物性残さ	1.39	0.02	0.01
	ゴムくず			
	金属くず			
	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	1,238.69	16.63	13.07
	廃石膏ボード	143.82	1.93	1.52
	石綿含有廃棄物(非飛散性アスベスト)	1,014.67	13.62	10.70
	鉱さい	110.25	1.48	1.16
	がれき類	2,243.15	30.11	23.66
	ばいじん	3.42	0.05	0.04
	廃石綿等	25.61	0.34	0.27
	政令13号廃棄物			
	合計	7,450.55	100.00	78.59
災害廃棄物	ガラス陶磁器・がれき類	12.97	0.64	0.14
	混合廃棄物	1,989.55	98.04	20.99
	スレート、サイディング、石膏ボード	26.85	1.32	0.28
	泥壁			
	断熱材、発泡スチロール			
	木毛板			
	燃え殻			
	廃プラ、農業ビニール			
	石綿含有廃棄物(非飛散性アスベスト)			
	金属を含む大型ごみ			
	廃石綿等			
	合計	2,029.37	100.00	21.41
廃棄物合計		9,479.92		100.00

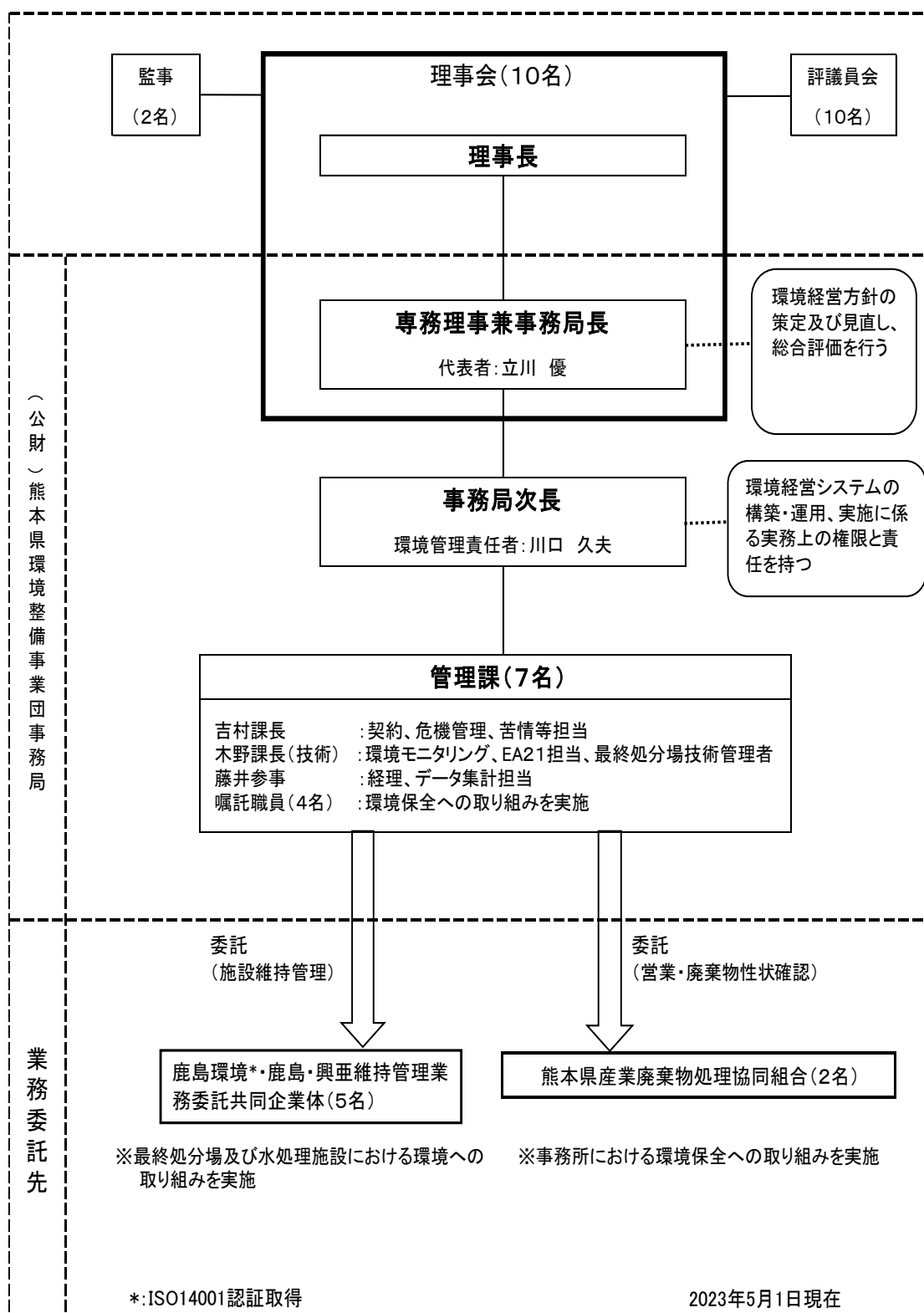
(16) マテリアルフロー

(産業・災害) 廃棄物の一連の処理の工程

【令和4年(2022年)4月~令和5年(2023年)3月】



2 エコアクション21組織図



3 環境経営方針

公益財団法人熊本県環境整備事業団は、産業廃棄物の適正な処理その他廃棄物に関する各種事業を行うことにより、本県の優れた自然環境の保全及び県民の生活環境の保全並びに産業の健全な発展に寄与します。

- 1 廃棄物の適正処分に努めます。
- 2 施設を安全に、長期間にわたり安定的に稼働させるとともに、早期安定化を図るため、適正な維持管理を実施します。
- 3 地域の環境保全に努めます。
- 4 熊本県北の環境教育の拠点として、環境学習や施設見学を通じて循環型社会の普及・啓発に努めます。
- 5 地域とのコミュニケーションを図ります。
- 6 省エネ、節水、メガソーラー発電への覆蓋施設屋根等の提供、グリーン購入を通して環境負荷低減に努めます。
- 7 環境関連法規等を遵守します。
- 8 SDG s（持続可能な開発目標）の実践に取り組みます。
- 9 この環境経営方針を関係者に周知し、継続的改善に取り組みます。

制定日：令和2年（2020年） 6月10日

改訂日：令和3年（2021年）10月28日

公益財団法人熊本県環境整備事業団

専務理事兼事務局長 立川 優

4 環境経営目標

令和2年度（2020年度）から令和4年度（2022年度）を第一期の取組期間として、環境経営目標を下表のとおり設定しました。なお、令和元年度（2019年度）の環境負荷を基準としました。

項目		単位	実績	目標期間		
			R1年度 (2019年度)	R2年度 (2020年度)	R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)
二酸化炭素排出量 (受入廃棄物量当たり)	電気使用量	kg-CO2/t	56.23	55.67	55.11	54.54
	削減率	%	—	-1	-2	-3
	重機燃料	kg-CO2/t	4.33	4.29	4.24	4.20
	削減率	%	—	-1	-2	-3
地下水使用量		—	地下水採取量が把握できないため、節水に努めると共に、貯水タンクの法定検査や点検、清掃を確実に実施する			
廃棄物(濃縮塩水)排出量		t	574.06	568.32	562.58	556.84
削減率		%	—	-1	-2	-3
化学物質使用量		—	対象化学物質は使用していないが、対象外の薬品等について、使用量、在庫量の把握を行い、異常のないことを確認する			

※ 電力使用による二酸化炭素排出量は、九州電力の2017年度の換算値0.463kg-CO₂/kWhを用いています。

※ ガス（LPG）については、目標設定時点では使用していない（使用量ゼロ）ため、目標及び二酸化炭素排出量の削減対象には含んでいません。

なお、令和3年度末から設備の維持管理のために僅かながら使用しています。

※ 令和2年度については、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの目標を掲載していますが、令和2年度はエコアクション21の登録初年度であり、令和2年9月10日からエコアクション21の本格的な取組みを始めています。

5 取組期間の環境経営目標の実績及び評価

【実績】

項目		単位	基準	目標設定期間				実績		
			R1年度 (2019年度)	R2年度 (2020年度)	R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	R2年度 (2020年度)	R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	
二酸化炭素排出量 (受入廃棄物量当たり)	電気使用量	kg-CO2/t	56.23	55.67	55.11	54.54	12.52	7.84	32.37	
	削減率 (R1年度基準)	%	—	-1	-2	-3	-77.73	-86.05	-42.43	
	重機燃料	kg-CO2/t	4.33	4.29	4.24	4.20	1.71	0.95	2.03	
	削減率 (R1年度基準)	%	—	-1	-2	-3	-60.57	-77.95	-53.08	
地下水使用量		—	地下水採取量を把握できないが、節水に努めるとともに、貯水タンクの法定検査や点検、清掃を確実に実施する							
廃棄物(濃縮塩水)排出量		t	574.06	568.32	562.58	556.84	380.57	218.70	332.03	
削減率(R1年度基準)		%	—	-1	-2	-3	-33.71	-61.90	-42.16	
化学物質使用量		—	対象化学物質は使用していないが、対象外の薬品等についても使用量や在庫量の把握を行い、異常のないことを確認する							

※令和4年度の電力使用による二酸化炭素排出量は、九州電力(株)の2022年4月～2023年1月の換算値0.479 kg-CO₂/kWhを用いています。

※令和4年度の二酸化炭素排出量排出総量は326,119.55 kg-CO₂、受入廃棄物量は9,479.92 tでした。

※令和2年度はエコアクション21の登録初年度であり、令和2年9月10日からエコアクション21の本格的な取組みを始めています。

対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日

記入日：2023年6月30日

記入者：公益財団法人熊本県環境整備事業団事務局 管理課長(技術)
木野 世紀

【評価】

- 令和2年度～4年度は令和2年7月豪雨に伴う災害廃棄物の受入れにより廃棄物の搬入量が大幅に増加した一方、設備や重機等の効率的な運用に努めた結果、廃棄物1トンあたりの二酸化炭素排出量等を目標以上に抑えることができました。
- 令和4年度の廃棄物1tあたり二酸化炭素排出量は、災害廃棄物の搬入が減少したことから(令和2年7月豪雨に伴う災害廃棄物の搬入は令和4年

度で終了) 令和3年度比ではやや増加しました。

- 令和2年7月豪雨に伴う災害廃棄物の含水率が比較的高かったことから処分場内散水量を抑えた結果、廃棄物(濃縮塩水)の量も目標以上に削減することができました。
- 地下水使用の数値目標は設定していませんが、節水を励行するとともに、関係施設の維持管理が適正に実施され、水質汚染や漏水等による損失がないように努めました。
- 使用する化学物質は適正に使用や管理がなされ、外部漏洩事故等の異常はありませんでした。
- 令和4年度で災害廃棄物の受け入れが終了しました。このため廃棄物搬入量の減少に伴う単位当たりの二酸化炭素排出量の増加が見込まれますが、引き続き、職員の節電・省エネルギー意識の向上や効率的な廃棄物の埋立てによる排出量抑制に取り組んで参ります。

6 環境経営計画

環境経営目標(方針)	環境経営計画	
	項目	目標値、頻度等
廃棄物の適正処分と負荷削減	・適正な契約手続き	全契約
	・廃棄物情報(WDS,分析結果)の確認	全契約で実施
	・安全管理講習会の実施	すべてのドライバーの受講
	・搬入時の性状確認検査	全車両で実施
安全な施設の運営	・環境モニタリング調査の実施	法令等の規定回数、項目以上の実施と公表
	・早期安定化を目指した適正な維持管理	施設の維持管理の記録の公表
		処理水の水質(放流水基準のクリア)
地域の環境保全	・周辺民家井戸調査の実施	継続して実施
環境教育の拠点	・環境学習や施設見学を通じた循環型社会の普及・啓発	積極的な受け入れ
地域とのコミュニケーション	・安全推進委員会	年2回
	・広報誌「エコアくまもと」だより	年2回
	・休日開放イベント開催	年2回
環境負荷の低減	・二酸化炭素排出量の削減	
	エアコンの適切な使用	温度管理、必要な部分のみの稼働
	照明の適切な使用	事務室照明の昼休み消灯
	水処理施設の適正な稼働	効率的な運転に努める
	重機燃料の適正使用	効率的な運転に努める
	・水使用量	節水に努める
	・廃棄物排出量の削減	
	濃縮塩水	浸出水の水質把握及び計画的処理の実施
	事務所排出分の事業系一般廃棄物	分別の徹底
	・化学物質の適正使用	使用量の把握、日常点検の実施
	・グリーン購入	コピー用紙のグリーン購入100%
	・コピー用紙使用量	両面使用、裏紙再利用に努める
環境関連法規等の遵守	・法令等の定期的なチェック	年1回3月に確認を行う
	・書類管理	

7 取組期間の環境経営計画に対する取組結果

【取組結果】

環境経営目標(方針)	環境経営計画		令和4年度実績	特記事項
	項目	目標値、頻度等		
廃棄物の適正処分と負荷削減	・適正な契約手続き	全契約	○	
	・廃棄物情報(WDS,分析結果)の確認	全契約で実施	○	
	・安全管理講習会の実施	すべての搬入車両ドライバーの受講	○	
	・搬入時の性状確認検査	全車両で実施	○	
安全な施設の運営	・環境モニタリング調査の実施	法令等の規定回数、項目以上の実施と公表	○	
	・早期安定化を目指した適正な維持管理	施設の維持管理の記録の公表	○	
		処理水の水質(放流水基準のクリア)	○	
地域の環境保全	・周辺民家井戸調査の実施	継続して実施	○	
環境教育の拠点	・環境学習や施設見学を通じた循環型社会の普及・啓発	積極的な受け入れ	○	R4:856人 詳細は、「11その他の活動」参照
地域とのコミュニケーション	・安全推進委員会	年2回	○	
	・広報誌「エコくまもと」だより	年2回	○	3回発行 ^{※1}
	・休日開放イベント開催	年2回	○	3回実施 ^{※2}
環境負荷の低減	・二酸化炭素排出量の削減		○	
	エアコンの適切な使用	温度管理、必要な部分のみの稼働	○	
	照明の適切な使用	事務室照明の昼休み消灯	○	
	水処理施設の適正な稼働	効率的な運転に努める	○	
	重機燃料の適正使用	効率的な運転に努める	○	
	・水使用量	節水に努める	○	
	・廃棄物排出量の削減		○	
	濃縮塩水	浸出水の水質把握及び計画的処理の実施	○	
	事務所排出分の事業系一般廃棄物	分別の徹底	○	
	・化学物質の適正使用	使用量の把握、日常点検の実施	○	
	・グリーン購入	コピー用紙のグリーン購入100%	○	
	・コピー用紙使用量	両面使用、裏紙再利用に努める	○	
環境関連法規等の遵守	・法令等の定期的なチェック	年1回3月に確認を行う	○	
	・書類管理			

※1： これまで年2回の広報誌の発行であったが、令和4年度はイベント来場者の増加を目的に、休日開放及び自主イベントの紹介に特化した特集号を年度末に発行した。

※2： 休日開放イベントは、令和4年4月及び令和5年3月に「桜の花見」「ツツジの花見」と銘打って実施。

対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日

記入日：2023年6月30日

記入者：公益財団法人熊本県環境整備事業団事務局

管理課長(技術) 木野 世紀

【評価】

全項目において、継続して取り組めていました。

各施設の維持管理や廃棄物の埋立ては適切になされ、浸出水や廃棄物等の外部漏洩や作業に伴う事故はなく、環境モニタリング調査や処理水の検査においても異常値はありませんでした。

施設見学及び自主イベント等については、熊本県が公表する新型コロナウイルスに係るリスクレベル等を考慮して対策を講じ、可能な範囲で受け入れました。

8 環境関連法規への違反・訴訟などの有無

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反等はありませんでした。

また、行政機関等からの指摘・指導、利害関係者からの訴訟等もありませんでした。

対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日

記入日：2023年6月30日

記入者：公益財団法人熊本県環境整備事業団事務局管理課

管理課長（技術） 木野 世紀

9 代表者による全体評価と見直し

令和4年度は、令和3年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や令和2年7月豪雨に係る災害廃棄物の受け入れが当事業団の事業活動に大きく変化を与えました。

令和4年5月に災害廃棄物の受け入れは終了しましたが、引き続き新型コロナウイルス感染症対策とともに、環境への取り組み及び適正な事業活動を行っていかねばならないと感じています。

対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日

記入日：2023年6月30日

記入者：公益財団法人熊本県環境整備事業団専務理事兼事務局長 立川 優

【今後の取り組みへの指示】

令和4年度までは毎年目標を達成することができましたが、令和5年度以降も新たな目標を設定し、引き続き全員で、かつ無理のない範囲で積極的に取り組んでいくこととします。

対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日

記入日：2023年6月30日

記入者：公益財団法人熊本県環境整備事業団専務理事兼事務局長 立川 優

10 環境教育の拠点としての活動、自主イベントを通じた地域とのつながり 【環境教育の拠点としての活動】

建設工事開始から令和5年3月末までに受け入れた環境学習・施設見学（自主イベント等を含む）の実施状況は下表のとおりです。

令和4年度も令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般の施設見学等の受入れを一時中止しました。なお、小学校の授業の一環で実施される施設見学等については、感染防止対策を行ったうえで受け入れました。

年 度	団体数	人 数		
		施設見学	環境学習	計
平成25年度（2013年度）	22	184	—	184
平成26年度（2014年度）	87	1,229	—	1,229
平成27年度（工事中）	56	576	—	1,502
（2015年度）（竣工後）	76	926	—	
平成28年度（2016年度）	142	1,274	953	2,227
平成29年度（2017年度）	111	963	574	1,537
平成30年度（2018年度）	131	1,344	713	2,057
令和元年度（2019年度）	116	1,251	531	1,782
令和2年度（2020年度）	85	473	211	684
令和3年度（2021年度）	56	438	340	778
令和4年度（2022年度）	79	293	563	856
計	961	8,951	3,885	12,836

○令和元年度（2019年度）以降の環境学習、施設見学受入れの実績（主な団体等）

【地 元】地元住民グループ・団体等、地元町区長会、小中学校、安全推進委員会 等

【学 校】県内小中学校、県内幼稚園 等

【行 政】県庁関係課、県地域振興局、県内市町村・議会、県外市町村・議会 等

【業 界】県外産業資源循環協会、産廃処理業者、排出事業者、業者団体、海外企業等

【その他】地域住民、大学、建設会社 等

【施設見学・環境学習の様子】

○環境学習：南関町立南関第二小学校



○出前講座（水生生物調査）：南関町立南関第四小学校



○施設見学：玉名市立鍋小学校



対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日

記入日：2023年6月30日

記入者：公益財団法人熊本県環境整備事業団事務局管理課

管理課長（技術）木野 世紀

(2) 自主イベント

令和4年度は、以下のとおり地域住民等一般向けの自主イベントを実施しました。

実施日	イベント名	内 容	対 象	実 績
R4. 4. 3 (日)	休日開放 ～桜の花見～	桜栈敷のソメイヨシノの開花を楽しむ	一般	5 人
R4. 4. 17 (日) 4. 24 (日)	休日開放 ～ツツジの花見～	ツツジの香りを楽しむ	一般	6 人
R4. 5. 14 (土) R4. 12. 4 (日)	エコアくまもと 大探検隊	施設内部（地下ピット 水処理棟等）公開	一般 (小学生以上)	11 人 10 人
R4. 5. 21 (土)	ホタル観賞会	自然環境エリアにおけるホタル観賞	一般	12 人
R4. 5. 29 (日) R4. 10. 2 (日) R4. 10. 22 (土)	スジエビ釣り大会	ため池に生息するスジエビを釣る体験イベント	小学生	12 人 17 人 19 人
R4. 6. 25 (土)	七夕笹頒布会	ため池周辺に自生する竹（笹）を無料配布	一般 (要事前予約)	4 人
R4. 8. 6 (土) 8. 21 (日)	夏休みの工作デー	低炭素社会の学習と、それを利用したものづくりイベント	一般 (小学生以上)	12 人 3 人
R4. 11. 13 (日)	エコアの どんぐりデー	敷地内のどんぐり集め、どんぐりポイント体験	一般 (小学生以上)	5 人
R5. 3. 26 (日)	休日開放 ～桜の花見～	桜栈敷のソメイヨシノの開花を楽しむ	一般	18 人

対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日

記入日：2023年6月30日

記入者：公益財団法人熊本県環境整備事業団事務局管理課

管理課長（技術）木野 世紀

○自主イベントのチラシ等

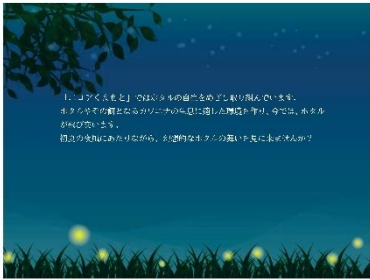
ホタルの鑑賞会

日時：令和5年7月21日(土) 19時～
定員：20人程度
参加費：無料



「ふにアホくま」といってはいくらでもおもしろいのでいいですね。
ホタルの季節はなかなかにワカニのへちまに思ひ出た地獄にやり。今度は、ホタル
が飛び交います。

道志の空にはあかりながら、空を舞うホタルの面々に光るホタル



<申込方法> 必要事項①～⑤を明信片のうえ、以下メール、Fax、又はハガキにて応募ください。

- ① 参加者氏名、住所
- ② メールアドレス（郵便物がない可）
- ③ 電話番号（口中に連絡がつく番号）

※ 申込期間：令和4年5月12日(木)迄(応募者多数の場合は抽選)

- 電話での申し込み不可
- 応募票、申し込み書の郵送・配達時に誤りがないが要す

<問い合わせ先> 〒861-0621 広島県三原市下田 4771-3
TCLD.0968-53 85001/平日9:30～16:45まで
Tel.0968-53-8510
Fax:0968-53-8510
e-mail:info@okids.jp



ONODA CITY CHILDREN'S MUSEUM

天候及び感染症コロナウイルス感染症拡大状況等によっては、中止する場合があります。

七夕笹頒布会

(七夕の飾り、お祝いの気持ちを伝えるイベント！)

に家族や友達で七夕飾りを飾ってみませんか？

日 時: 2022年6月25日(土)

午前10時～午後1時

場 所: エコアくまもと

主催(事務局): 海潮

協賛(共催): 39's

7月7日は七夕の日！

みんなは何かお祝いしますか？



＜参加の仕方＞

6月7日(土)の夜までに家族や友人と一緒に笹飾りを作ります。作った笹飾りを会場に持参し、お楽しみ会を行います。

＜参加費＞

参加費(税込) 2,000円(会場費別) (7名以下)

(お食事等ご希望の方は別途) ……お申し込みは2週間前まで

TEL: 025-251-8550 受付時間: 10時～16時(土・日・祭日)

※お申し込みは30名までです。

エコくまもとの夏休み工作デー

令和4年**8月6日(土)**10時～

●リ・グラスアートを作ろう
（作品例）


●ソーラーミニカーを作ろう
定員：各15人程度
（完成品の写真は左側）
応募締切：7月25日（月）

参加費
無料

一押し！
「環境」を
考えてみよう！

●リングアートを作ろう
（完成品写真参照）
●竹工芸
＝一部材料もご用意できます！

令和4年**8月21日(日)**10時～

●曲線系キャンドル作り
（作品例）


●竹工芸作り
（作品例）


定員：各10人程度
（完成品の写真はこちら）
応募締切：8月16日（月）

※参加費なし、入場料のみです。無料のバス「エコくま」が会場まで送迎してくれます。
①午前9時から受付
②午前9時半からイベント開始
③午後5時30分まで受付・観覧可能（最終受付は18時）
④当日の天候により変更する場合があります
⑤雨天決行です
⑥お申し込み後、必ず1週間前までにキャンセルしてください
⑦お申し込みの際に必ずお名前と住所をお知らせください
⑧お申し込みから1週間前までのメールを受け付けなくなり、当日にお名前を合紙します。e-mail:event@kumajo.jp

（問い合わせ先）
〒511-0023 三重県桑名市下町3-4-771-3
（公益財団）三重県民会館3階3号室「エコくままち」
担当：佐野、成田、高村
TEL:50968-53・8500（平日9時～16時まで）
TEL:50968-53・8510
E-mail:event@kumajo.jp

[illegible]

エコアくまもと 大探検ツアー

「エコアくまもと」を探索するバックステージツアー！
 観覧することができない地下ピットや水処理場など、「エコアくまもと」を
 探検しながら、「エコアくまもと」をまるごと学んでみましょう！

南阿蘇町にある最終処分場「エコアくまもと」は、豊かな自然のなかにある
 とても安全な、全国のモデルとなるような施設です。

日程 **2022年12月3日（土）** 申込締切 **2022年11月26日（金）**

開催地分場「エコアくまもと」（南阿蘇町下坂下4771-3）

対象 **小学生以上**

定員 **15人（応募者多数の場合は抽選）**

申込方法 必要事項①～④を明記のうえ、電子メール、Fax又はハガキでご応募ください。

①参加者氏名、学年、住所
 ②付添の保護者氏名（1名）
 ③メールアドレス（保護者のみで可）
 ④電話番号（口中に連絡がつく番号）
 ※郵送での応募はできません。

新型コロナウイルス感染症のリスクレベルが2以上の場合は中止し、また、発熱日以外であっても、
 リスシレバズになった時点で中止とします。
 （公財）熊本県環境保全財団「エコくまもと」 担当：佐野、西村
 t:0968-53-8500（平日9時～16時） E-mail:info@kksj.jp

全国のモデルとなるような安全な施設・地域に役立つ施設を目指して

エコアくまもとだより
エコアくまもと」は、有害な物質を安全に処理する施設です。 令和5年（2023年）3月 第25号

イベント特集号

休日開放～花見～のお知らせ

エコアくまもとは、西側ため池周辺の自然環境エリアに
 「桜（和永町の町木）」と「ツツジ（南阿蘇町の町花）」を植栽して
 います。
 開花の時期に合わせて、以下の日程で休日開放を予定して
 います。
 穏やかな日差しの中で、春の訪れを実感してみませんか。
 当日は、花見に併せて処分場の施設見学も可能です。
 お気軽に御参加ください。皆様のお越しをお待ちしております（ご予約不要）。

～桜の花見～
 ○日時
 令和5年3月26日（日） 両日とも
 4月 2日（日） 11時～15時

～ツツジの花見～
 ○日時
 令和5年4月16日（日） 両日とも
 4月23日（日） 11時～15時

【お願い】
 ・発熱や風邪等の症状がある方のお来場はお控えください。
 ・持ち込まれた飲食物等のゴミはお持ち帰りください（密着要請絶対ダメ）。
 ・文様及び新型コロナウイルス感染症の拡大状況等によっては、中止
 する場合がありますのでご了承ください。

<裏面に令和5年度イベント一覧を掲載しています> エコアくまもとで検索

※広報誌「エコアくまもとだより」
 裏面は令和5年度イベント一覧（省略）

<実際の様子>（抜粋）

○スズエビ釣りの様子<R4.10.22（土）>



○エコアのどんぐりデー<R4.11.13（日）>



○冬のエコアくまもと大探検会＜R4.12.4（日）＞



(3) 熊本県SDGs登録事業者への登録について

熊本県では、SDGsに積極的に取り組む企業等を後押しし、県内におけるSDGsの取組のすそ野を広げるため、これらの企業等を登録する「熊本県SDGs登録制度」が令和3年1月に創設されました。

当事業団は、令和3年10月に申請を行い、令和4年1月26日付けで第2期熊本県SDGs登録事業者に登録されました。



1 1 令和5年度以降の環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画について

①環境経営方針については、現行方針（令和2年6月10日制定、令和3年10月28日改訂）を継続します。

②環境経営目標については今後の廃棄物搬入見通し等を踏まえ、令和5年度～令和7年度を第二取組期間として、以下のとおり設定します。基準は引き続き令和元年度の環境負荷（廃棄物搬入量5,006t）を基準とします。

項目		単位	基準	目標期間		
			R1年度 (2019年度)	R5年度 (2023年度)	R6年度 (2024年度)	R7年度 (2025年度)
二酸化炭素排出量 (受入廃棄物量当たり)	電気使用量	kg-CO2/t	56.23	55.67	55.11	54.54
	削減率	%	—	-1	-2	-3
	重機燃料	kg-CO2/t	4.33	4.29	4.24	4.20
	削減率	%	—	-1	-2	-3
地下水使用量		—	地下水採取量が把握できないため、節水に努めると共に、貯水タンクの法定検査や点検、清掃を確実に実施する			
廃棄物(濃縮塩水)排出量		t	574.06	568.32	562.58	556.84
削減率		%	—	-1	-2	-3
化学物質使用量		—	対象化学物質は使用していないが、対象外の薬品等について、使用量、在庫量の把握を行い、異常のないことを確認する			

③環境経営計画

環境経営目標を踏まえ、令和5年度以降も引き続き取り組みます。

環境経営目標(方針)	環境経営計画	
	項目	目標値、頻度等
1. 廃棄物の適正処分と負荷削減	・適正な契約手続き	全契約で実施
	・廃棄物情報(WDS,分析結果)の確認	全契約で実施
	・安全管理講習会の実施	すべての搬入担当ドライバーの受講
	・搬入時の性状確認検査	搬入時に全て実施
2. 安全かつ安定的な施設稼働並びに適正な維持管理	・環境モニタリング調査の実施	別途定める年間計画に基づく実施と公表
	・早期安定化を目指した適正な維持管理	施設の維持管理の記録の公表
		処理水の水質を放流水基準に適合
3. 地域の環境保全	・周辺民家井戸調査の実施	年1回 継続して実施 (5年で全井戸を一巡。)
4. 環境教育の拠点	・環境学習や施設見学を通じた循環型社会の普及・啓発	積極的な受け入れ
5. 地域とのコミュニケーション	・安全推進委員会	年2回実施
	・広報誌「エコアくまもと」だより	年2回発行
	・休日開放イベント開催	年2回(桜、つつじ)
6. 環境負荷の低減	・二酸化炭素排出量の削減	
	エアコンの適切な使用	温度管理の徹底、必要な部分のみの稼働
	照明の適切な使用	昼休み事務室照明、不要箇所の消灯
	水処理施設の適正な稼働	浸出水の流入状況を適正に把握し、計画的かつ効率的な運転に努める
	重機燃料の適正使用	廃棄物の搬入状況に応じた効率的な稼働に努める
	・水使用量	節水に努める
	・廃棄物排出量の削減	
	濃縮塩水	浸出水の水質や流入量を基に計画的処理の実施
	事務所排出分の事業系一般廃棄物	分別の徹底
	・化学物質の適正使用	使用量の把握、日常点検の実施
	・グリーン購入	「熊本県グリーン購入推進方針」に準じた物品購入
	・コピー用紙使用量	必要最小限の印刷部数、両面使用の徹底、裏紙再利用に努める
7. 環境関連法規等の遵守	・法令等の定期的なチェック	年1回(3月)に確認を行う
	・書類管理	



熊本県公共関与産業廃棄物管理型処分場（エコアくまもと）内の桜栈敷

地元南関町の花「ツツジ」と隣接する和水町の木「桜」を植栽し、施設見学や住民開放日において憩いの場として利用しています。